

題材名・単元名	学部	授業名（主たる教科領域）	授業者
お金の構成	高	合科 Ⅱグループ 数学	宮田充規
<ねらい> ・硬貨の構成方法について知り、正しく構成できるようになる。			
学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物	
あいさつ 本時の説明 ①硬貨の確認	授業の始まりを意識させる ①硬貨の確認 ②硬貨の構成問題をする事理解する。 コインケースをそれぞれの生徒に渡す 各硬貨の枚数がそろっているかを教師と一緒に確認をする。 足りない場合は「10円玉が2枚足りません」 多い場合は「100円玉が1枚多いです」 など定型文の見本を見ながら主の教師に伝える。 全員が正しくケースに入っていることを確認する。	友達が挨拶できる状態を確認させてからする。 あらかじめ硬貨の数を調節しておく。 確認のための補助板が必要な生徒には教師が渡す。	
②硬貨の構成 まとめ	硬貨の構成補助板を配る 硬貨の構成の問題を生徒に提示する。 教師が1人1人の補助板に問題の金額を記入する。 時間を見て8から10問くらい行う 友達も頑張っていることを知る。	生徒の実態により5円玉、50円玉の使用を促す問題を提示する。 授業で頑張ったこと、できるようになったことを副の先生にも意見を言っても来ながら、生徒の取組を発表する。	
あいさつ	授業の終わりを意識させる	友達が挨拶できる状態を確認させてからする。	
<内容（工夫点など）> ・硬貨の確認をするときには、「5円玉2枚足りません」から「5円玉で10円足りません」と言い換えを行った。			
<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）> ・補助カードを使用し、繰り返し学習すると理解が進み、正解できることが増えた。			